

ProjectsAbroad

活動 実績

2022

IMPACT REPORT

VOLUNTEER



ProjectsAbroad

KENYA



本レポートは、当ページ左上にあるようなアイコンを使用しています。これは、プロジェクトアブロードの活動が与える影響が、国連のどの持続可能な開発目標に該当するかを示すものです。国連が掲げるこれらの17の目標は、世界的な課題に取り組むことを目的としています。詳しくは sdgs.un.org/goals をご覧ください。

活動実績 2022

今日この日までに、13万人以上の参加者が地球をより良い方向に導くことに貢献してきました。

本レポートは、2022年に活動が与えた影響の軌跡です。プロジェクトアブロードは毎年活動に関するデータを収集し、グローバルインパクトレポートとして活動実績を発表しています。

プロジェクトアブロードは、過去・現在・未来の参加者に、より安全で持続可能な世界を築く大きな組織の一員であることを認識してほしいと願っています。

全体としての活動が与える影響は、部分的な活動が与える影響の合計よりも大きいことを示しています。参加者一人ひとりの貢献は、過去の参加者の活動を受け継ぐものであり、即効性がある短期的な支援を提供するだけでなく、体系的かつ構造的な課題にも取り組んでいます。

世界中の不平等と闘う上で、プロジェクトアブロードの役割はさまざまな立場の関係者をつなぎ、協力を促すプラットフォームとなることです。団結・国際社会における責任の認識・行動なしには、進歩はあり得ません。

プロジェクトアブロードの活動を築く3原則：

1

地元主導の取り組み：

優先順位と最善の方法の判断において、地元の知識とスキルを活用

2

長期的な支援：

現在と未来の問題解決に向けて、持続可能で一貫性のあ
るアプローチを優先

3

低負荷の渡航：

自然、文化、地域社会の保全を支援

ハイライト



643回
環境調査



18,003本
植林



296.03km²
保護した地域

環境保護



2,074km
モニタリング



3,112.14kg
回収したゴミ



120台
設置した
エコストーブ



258回
教育ワークショップ



22校
学校改修



9ヶ所
設置したトイレ

コミュニティ 開発



43回
人権ワークショップ



79件
対応法律案件



2棟
教員宿舎



5,143回
医療アウトリーチ



3,846人
対応患者数



2,780回
バイタルチェック

医療& ヘルスケア



1,304回
医療処置



95回
予防接種



214回
応急処置
ワークショップ

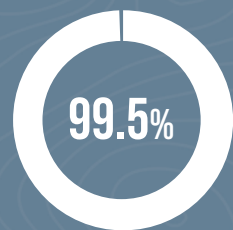
自己啓発

教育は、長期的かつ持続可能な解決策として不可欠であり、参加者自身の成長の鍵でもあります。

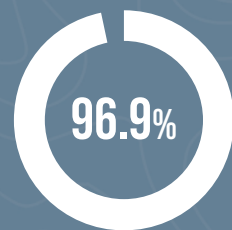
プロジェクトアブロードのプログラムは、すべて教育において成果をもたらすよう構成されています：

- 異文化への理解：新しい視点に触れ、異文化への認識を深める
- 国際市民：国際社会における自分の役割を理解し、目の前にある課題に取り組み、持続可能な開発の率先に貢献する
- リーダーシップ：新しい人生経験を通して、自信・逆境から立ち直る力・共感力を養う
- エンパワーメント：現状を問いかけ、斬新な意思決定能力を養う

参加者の声：



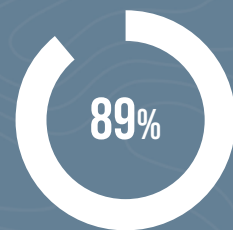
人生に与えた
ポジティブな影響



自信の助長



キャリア開発



コミュニケーションの改善



異文化理解の促進



「例えば私が与えた影響がほんの一部
だったとしても、活動国が私に与えた影響
と同じくらい大きければうれしいです。」

Esme
プロジェクトアブロード体験者

活動拠点

2022年に活動が
影響を与えた国々:

- ① ボツワナ
- ② ガーナ
- ③ ケニア
- ④ 南アフリカ共和国
- ⑤ タンザニア
- ⑥ トーゴ
- ⑦ カンボジア
- ⑧ インド
- ⑨ モンゴル
- ⑩ ネパール
- ⑪ フィリピン
- ⑫ スリランカ
- ⑬ タイ
- ⑭ ルーマニア
- ⑮ アルゼンチン
- ⑯ コスタリカ
- ⑰ エクアドル(ガラパゴス諸島)
- ⑱ ジャマイカ
- ⑲ メキシコ
- ⑳ ペルー
- ㉑ フィジー

「一人間として、そして社会人として成長する機会を与えてくれました。おかげでメキシコ内外出身の興味深い素晴らしい人たちにもたくさん出会えました。そのおかげで、外の世界の素晴らしさを知ることができました」

Jonatan Torres Estrada

プロジェクトアブロードメキシコスタッフ

環境保護

世界中で行われているプロジェクトアブロードの環境保護活動は、現地の人々主導で行う・地域社会と提携する・自然環境の搾取に依存しない雇用を創出するという一貫した方法で行われています。

- 現地の人々の知見は、生物多様性の重要な地域を特定し、その地域特有のニーズに合わせた保護戦略の策定に欠かせません。
- 地域社会の支援は、現地の人々が周辺環境に対する当事者意識を育むことに役立てられます。地元住民が自ら地域コミュニティの保全に関わることで、より活発な行動が期待されます。
- 持続可能なライフスタイルは、天然資源を守ることに繋がります。環境を破壊しないライフスタイルを維持できれば、天然資源の過剰搾取を抑制できると考えられます。



ネパール

チトワン国立公園を管理するNational Trust for Nature Conservation (NTNC) や、チトワンの緩衝地帯を保護するコミュニティ・グループのCommunity Forest Authoritiesと協力。国立公園の枠を超えてNTNCの活動を拡大しながら、イッカクサイとSouthern Teraiの生態系保護に努めています。



アルゼンチン

Fundacion Patagonia Naturalおよびその提携機関であるThe World Land Trustと協力し、農場経営者(人間)とピューマ(野生動物)間の干渉の緩和に貢献。パートナーシップのもと、プロジェクトアブロードの参加者は67km²の地域、20種の野生生物、12km²の海岸線におよぶ地域の生態系のモニタリング・保護・強化を可能にしています。



ケニア

ソイサンブ保護区のレンジャー(自然保護隊員)の活動を支援し、約194km²のパトロール・運営・モニタリング・維持をアシスト。プロジェクトアブロードの参加者は現地住民と共存しながら、個体調査、野生動物の追跡、密猟者が仕掛けた罠の除去、地元住民のためのエコストープの設置など、日々さまざまなタスクに取り組んでいます。

12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう



17 パートナースhipで
目標を達成しよう





プロジェクトアブロードの参加者たちは、離島、熱帯地域のビーチ、鬱蒼としたジャングル、広大なサバンナに至るまで、一年をかけて自然が繁栄できる生物多様性のある空間の保全に努めてきました。

環境保全を効果的に行うには、現地人の知識、地域社会からの支援、持続可能なライフスタイルが必要であり、これらは切っても切り離せません。

すべての利害関係者が携わり、現地のニーズを理解することによってのみ、環境保護に対する構造的な課題に取り組むことができるのです。

2022年、野生生物のモニタリング、保護、保全、そして地域環境の改善に貢献したプロジェクトアブロードの取り組み：



3112.14kg

ゴミ回収

一般ゴミ 1,819.14Kg

リサイクルしたゴミ 1,293Kg



2,074km

モニタリングした海岸線

メキシコ 24Km

アルゼンチン 12Km



18,003本

植林

マングローブ 17,283本

固有種 720本



643回

調査数

野生動物の調査 346回

海洋調査 251回

野鳥の調査 46回



296.03km²

保護した地域

アルゼンチン 67Km²

ボツワナ 30Km²

ペルー 4.76Km²

ケニア 194.24Km²

ガラパゴス諸島 0.028Km²



30回+

環境保護キャンペーン

除去した罠 38個

設置したエコストーブ 120台

掘った井戸 3基

保護した 野生動物

2022年、プロジェクトアブロード
はこれらの種をはじめとした野生
動物の保護に貢献しました。



コウモリ
さまざまな種



ヌビアキリン
*Giraffa
camelopardalis
rothschildi*



ウミガメ
さまざまな種



ピューマ
*Puma
concolor*



ライオン
Panthera leo



サンゴ
さまざまな種



ゾウガメ
*Chelonoi
chatha*



イッカクサイ
*Rhinoceros
unicornis*



ミナセミクジラ
*Eubalaena
australis*



オオジロザメ
*Carcharhanis
leucas*



クロホエザル
*Alouatta
caraya*



ベンガルハゲワシ
*Gyps
bengalensis*

コミュニティ 開発

プロジェクトアブロードの地域開発は、教育的・社会的サービスへのアクセス向上を優先。貧困の連鎖を断ち切り、地域社会が自ら発展の方向性を設定できるよう、構造的な不平等の解決に取り組んでいます。

プロジェクトアブロードの参加者は、インフラの整備やメンテナンス、教育ワークショップの運営など、さまざまな活動に取り組みました。

活動の中心は、学校の改築や読み書きのトレーニングから、人権ワークショップや法的サポートに至るまで、アクセスおよび参加を増やし、人々のエンパワーメントに重きを置きました。

「教育は、それ自体がエンパワーメントの権利であり、経済的・社会的に疎外された子供や大人が貧困から脱却し、完全に社会の一部となる最も強力な手段の一つです。教育の変革力を最大限に引き出し、持続可能な開発計画のような国際的な進歩の指標を満たすためには、誰もが教育を受けられるようにしなければなりません」

ユネスコ, 2022





「女性の経済的エンパワーメントへの投資は、ジェンダーの平等、貧困撲滅、包括的な経済成長に直結します。」

UN Women

2022年、地域社会全体の水準を高め、教育へのアクセスを向上させたプロジェクトアブロードの取り組み：



258回

教育ワークショップ

幼児発達 59回

数字 55回

読み書き 75回

体育 53回

衛生教育 16回



31施設

改修&インフラ整備

教室 10クラス

トイレ 9ヶ所

セキュリティの壁 4枚

基礎・土台 6基

教員宿舎 2棟



43回

人権ワークショップ

代表権

結婚・離婚権

家庭内暴力

家族計画

性的健康

参政権

精神衛生

医療& ヘルスケア

プロジェクトアブロードは、貧困地域に暮らす人々に必要不可欠な医療を提供し、最も必要とされる場所での医療アクセスの向上に貢献しています。

世界保健機関(2017年)は、世界人口の半数が必要不可欠な医療を受けられず、費用面での懸念が医療アクセスを妨げている一因とし、人々をさらに貧困に追いやっていることを明らかにしました。

プロジェクトアブロードの参加者は、徹底的に管理された活動先や提携先にて、発展途上の経験豊富な医師や看護師のシャドーイングに従事しています。

ここで必要不可欠な医療技術を学び、世界の医療問題に対する理解を深めています。

そのお返しとして、プロジェクトアブロードの参加者たちは監督下で実践的な医療スキルを身につけ、世界で最も疎外された地域社会に基礎医療サービスの提供のサポートを行っています。

参加者のメリット:

医療従事者のシャドーイングを通じた実践的な臨床経験

ワークショップやトレーニングで身に付けられる実践的なスキル

限られた資源の環境で医療活動を実施するための工夫・知恵

臨床の場での異文化に触れる機会や母国語が英語でない人々との関り





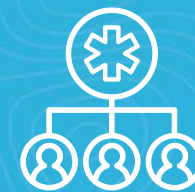
「プロジェクトアブロードでの医療ボランティア経験は、自分が想像していた以上のもので、他では得られない人生を変えるような機会をもらいました。今回の経験によって、自分の医療に対する情熱と、将来医療の道に進みたいという気持ちが明確になりました」

ガーナ 高校生スペシャル・医療プログラム参加者

「活動中、救急車の夜勤に同乗したり、手術室に同席したり、血圧や血糖値を測ったり、傷口を消毒したりして、ホームレスの人々の医療チェックに深く関わることができました。高校生の自分にとって、母国のカナダでは決してできない経験でした」

モンゴル 高校生スペシャル・医療プログラム参加者

2022年、基礎ヘルスケアサービスへのアクセスの向上に貢献したプロジェクトアブロードの取り組み:



51回

医療アウトリーチ

訪問先コミュニティ 10ヶ所

対応患者数 5,143人

18歳未満の患者数
4,053人 (79%)



2,845回

検査

マラリア検査 2,034回

B型肺炎検査 401回

HIV検査 50回

糖尿病検査 290回

デング熱検査 70回



2,780回

バイタルチェック

BMI測定 917回

血圧検査 1,154回

血糖値検査 709回



3,846人

無料の処方箋



95回

予防接種



60回

一般医療の提供



214回

応急処置
ワークショップ



85人

性教育

気候変動 への対策

プロジェクトアブロードは、渡航を気候変動に対する解決策の一部に据えています。

まずは、プロジェクトアブロード自らの二酸化炭素の排出量を計算して、影響を把握することから。二酸化炭素の排出量を削減・軽減することとし、それが叶わない場合は相殺することを徹底しています。

プロジェクトアブロードは今年、第三者のコンサルタント機関であるCLevelと提携。現在の二酸化炭素排出量を測定し、今後も測定を続けるための枠組みを制定しました。

現在、プロジェクトアブロードは英国の環境・食糧・農村地域省の炭素換算係数を使用しています。

二酸化炭素排出量の主な計算方法：



現地での移動：

空港送迎、宿泊先と活動先間の移動、活動外での交流イベントなど、活動国内でのすべての移動に伴う交通機関の排出量を測定



食事：

参加者とスタッフの食事量を合計し、ベジタリアンかビーガンかによって、一日当たりの二酸化炭素換算排出量kgを掛け算



宿泊：

4タイプの宿泊施設（ホストファミリー・ホテル・ゲストハウス・エコロッジ）の宿泊数を合計し、これに各国の係数を掛け算（係数がない場合は、英国の指標を使用）



スタッフの通勤およびフライト：

スタッフの通勤、フライト、宿泊、鉄道利用による排出量を合算し、総量を算出



全オフィス：

合計5,694kWhを使用し、在宅勤務の推定量も含めて1.32トンの二酸化炭素を排出

13 気候変動に
具体的な対策を



「現地スタッフは、どんな状況・どんな時でも喜んでサポートしてくれました。現地スタッフから、環境に配慮した旅行、持続可能な観光、国際社会の一員であることの大切さを教わりました」

Chelsea C





13万本

2015年以来、プロジェクトアブロードは13万本の植樹に貢献してきました。内8万本(62%)は、マングロープです。マングロープは、単位面積当たり森林の4倍もの炭素を蓄えることができ、さらに気候の変化にも非常に強い植物です。また、洪水からの保護、魚の生息地、劣化した生態系の回復、水質の改善などの効果も期待できます。

プロジェクトアブロードは、渡航が気候変動に対する解決策の一部になり得ると確信しています。環境への影響を最小限に抑え、避けられない二酸化炭素排出は相殺するというソリューションを通じて、模範を示しています。

2022年、プロジェクトアブロードは持続可能性に向けて、5つの対策を取りました：

生物多様性の向上：

- 1 絶滅危惧種の野生動物をモニタリングし、その生息地を拡大することによって、地球のエコバランスを回復

植林：

- 2 自然景観を再生し、気候変動への適応に向けた自然ベースの解決策を推進

利害関係者との協力関係の構築：

- 3 気候変動への耐性を高める長期的な解決策を開発すべく、現地の人々の知見をフル活用

社会問題の定義：

- 4 基本的な社会的ニーズを満たし、現地住民へのエンパワーメントを通して現地の人々による環境の改善・保護を促進

環境保全の意識向上：

- 5 環境保全の専門家への支援

プロジェクトアブロードは、渡航がもたらす環境への影響について正直でいたいと考えています。そして、上記5つの方法によって、渡航をプラスの力に変換しています。



来年も
えうご期待!

 @projectsabroadjapan

 @projectsabroad

ProjectsAbroad

 @ProjectsAbroadJapan

www.projects-abroad.jp